

CN ニュースレター



© 菊川市

7分野7名の認定看護師が
院内・院外で活動します。
ご支援、ご協力をお願いします。

摂食・嚥下障害看護認定看護師

田邊 敬博



『食べる』ことは私たちにとって欠かすことのできない行為であり、楽しみでもあります。

摂食・嚥下障害看護認定看護師の役割は、摂食嚥下障害のある患者さんへの嚥下評価や食事介助方法の確立、スタッフへの口腔ケアや安全な摂食時のポジショニング、食事介助方法の指導教育、栄養サポートチーム活動への参加、嚥下機能低下の評価・誤嚥性肺炎・窒息・低栄養・脱水等の予防を目的としたリスク管理が主に挙げられます。多職種と協働し、患者さんの『食べる』ことへの楽しみや喜びを大切にしたいQOLの向上、栄養摂取することの意思決定を支援していきます。認定看護師として院内での活動を開始したばかりで慣れない面もあるかと思いますが、スタッフの皆様と一緒に知識、技術を共有していきたいと考えています。



© 菊川市

地域の医療を支えている方と
フランクにコミュニケーションが
図れる場です。
皆様のご参加をお待ちしております。

7月より「地域のみなさまと学ぶ会」を開催します。認定看護師会では、院内職員と地域の医療職の架け橋になることをめざし令和3年度より活動を開始しました。昨年1年間を通し、お互いを知ることが地域連携の第一歩だと強く感じました。地域の医療職の方に病院職員を知ってもらう、病院職員には地域で活躍される医療職の方を知る機会になることを願っています。地域と繋がる一歩、地域医療の現実を知る一歩、そして共に協働する一歩と歩を進めたいと思っています。

開催月	分野	担当
7月	感染管理	長谷川
8月	認知症看護	高畑
9月	皮膚・排泄ケア	横山
10月	がん化学療法看護	岡本
11月	緩和ケア	村山
12月	糖尿病看護	平川
1月	摂食・嚥下障害看護	田邊

糖尿病看護特定認定看護師

平川 亜紀



糖尿病とは、分類や罹患期間などによっても治療や病気に対する悩みは大きく違います。

糖尿病や合併症をもつ患者さんと家族が、治療や生活で困っている些細なことにも耳を傾け、療養生活を一緒に考えることで、その人らしく生活ができるようにサポートさせていただきます。治療においても特定行為を活かし、患者さんの生活スタイルや思いに寄り添い、包括的なアセスメントをもとに医師と治療内容を相談しながら、よりよい生活ができるように丁寧に関わっていきます。当院スタッフの皆様へ、糖尿病のことで悩んだら小さなことでもいいので連絡いただければうれしいです。

初々しい皆さんからのパワーをもらいました！
一緒に頑張っていきましょう。



© 菊川市

令和4年度は、新しい仲間とともに院内・地域みなさまのための活動に取り組んでいきたいと思っています。
認定看護師会への要望などありましたらお知らせ下さい。

認定看護師 一同

作成：感染管理 長谷川尚美

CN ニュースレター

令和4年 第11号

発行元: 菊川市立総合病院

看護部: 認定看護師会

発行日: 令和4年7月22日

認定看護師会では、当院の職員が地域の医療・介護に携わる皆様と共に学び、支え合うことを目的とした活動に取り組んでいます。

7月12日に開催した「地域のみなさまと学ぶ会」の様子をお知らせします。



© 菊川市

テーマ: コロナ最新情報 ~地域との連携を含めて

この会は、地域の要望や認定看護師がお伝えしたい内容から、担当とテーマを決め、レクチャーをした後に交流会（フリートーク）の場を設けています。

今回の実施後アンケートには、「他の事業所の様子がきけて良かった。」

「GWで意見交換をして、日頃の悩みや思いが共有できて良かったです。」

「とても気持ち良く、他の職場の方とも話げできました。」

「フリートークで実体験のお話とても勉強になりました。」と頂きました。

コロナ禍においては、web研修やYouTubeで容易に学ぶことは出来ますが、コミュニケーションや横のつながりも大事だと感じました。

この会が地域の医療・介護を支える方々の、現場レベルの繋がり場の場として病院および市内の医療・介護職の皆様にご利用して頂けることを願っています。

担当 感染管理認定看護師 長谷川 尚美



院外 20人、院内 2人
ご参加ありがとうございました

ノット&タックマスクの紹介

口とマスクが触れず息がしやすい、マスクの端の隙間が減るため、ウイルス曝露も低減されます。



作成と試着をしました

手洗い後や手指消毒後は乾燥が大事!

せっかくきれいにしても乾燥が不十分な手指には汚れが付きます



© 菊川市



汚れが付く

乾燥していない手

乾燥している手

ノット&タックマスクの作り方



© 菊川市

次回 8月9日
お知らせ

認知症看護 その人を理解した認知症ケア

認知症の方との関わりで、認知症の方の思いと私達の思いがすれ違ってしまふことがあります。良かれと思ひ行ったことが相手を傷つけてしまい、お互いが辛い思いをすることも多々あるかと思ひます。認知症の方の性格、生活状況、個別的背景などを知り、その人を理解して関わることで信頼関係が築け、認知症の方は安心して過ごすことができます。そして、認知症の方も私達も穏やかに過ごすことができます。その人を理解した認知症ケアを一緒に学んでいきましょう。ご参加をお待ちしております。

認知症看護認定看護師 高畑さえ子

日頃より認定看護師の活動に、ご理解・ご協力ありがとうございます。今後も、皆様の身近で活動しながら、役立つ情報を発信していきたいと思ひています。

認定看護師一同

作成 長谷川 尚美

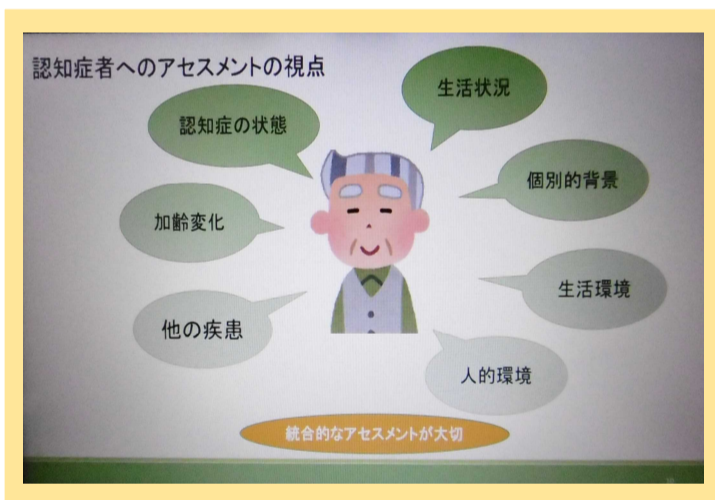
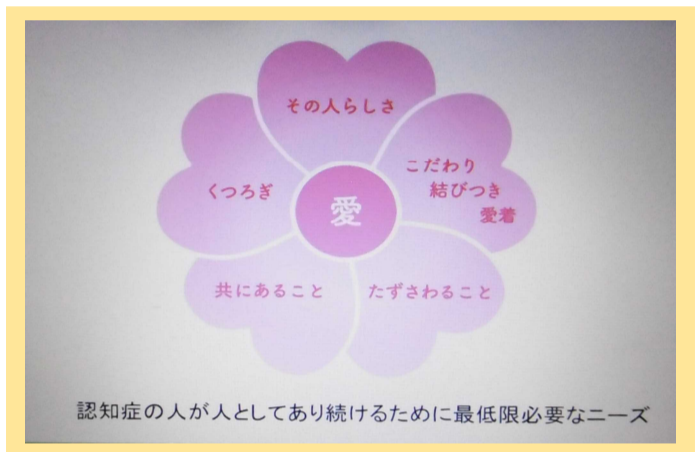
認定看護師会では、当院の職員が地域の医療・介護に携わる皆様と共に学び、
支え合うことを目的とした活動に取り組んでいます。

8月9日に開催した「地域のみなさまと学ぶ会」の様子をお知らせします。

その人を理解した認知症ケア

認知症患者をひとりの人として尊重し、同じ視点や立場に立って理解しながら
介護していく“パーソン・センタード・ケア”があり、
認知症の方が持っている5つの心理的ニーズを満たすことが重要とされています。
認知症の人が人としてあり続けるために最低限必要なニーズを大切にしていきたいと思います。

認知症の方と関わることは簡単ではありませんが、認知症の方の笑顔を見るために頑張っていきたいと思います。



参加者より・・・

「介護の実体験や自宅での介護の様子など、色々話を聞くことができ良かった」 「現場で参考になる点があった」
「アドバイスをもらい気持ちが楽になった、安心した」
という意見がありました。

担当 認知症看護認定看護師 高畑さえ子



© 菊川市

“尿漏れ”あなただけじゃありません。 ～安心して外出するために～

咳やくしゃみ、大笑いしたとき、冷たい水を触ったとき…「あっ！」ということないですか？

尿漏れは男女関係なく、どの世代でも抱えているお悩みです。

なかなか人に相談しづらいことだから…あきらめていませんか？

なぜその尿漏れが起きているのか、どうしたら改善するのか、

一緒に考えて行動してみましょう。

皮膚・排泄ケア認定看護師 横山明子

日頃より認定看護師の活動に、ご理解・ご協力ありがとうございます。今後も、皆様の身近で活動しながら、役立つ情報を発信していきたいと思っています。 認定看護師一同

作成 高畑 さえ子



©菊川市

認定看護師会では、当院の職員が地域の医療・介護に携わる皆様と共に学び、
支え合うことを目的とした活動に取り組んでいます。

9月13日に開催した「地域のみなさまと学ぶ会」の様子をお知らせします。

“尿漏れ”あなただけじゃありません。

～安心して外出するために～

尿漏れ一人で悩んでいませんか？

ある調査では、30-40代で初めての尿漏れを経験し、
40代女性の3人に1人は尿漏れをしたことがあるという
結果がでています。今回は、尿失禁の種類や症状、女性の
尿漏れ原因に最も多い「骨盤底筋の緩み」についてお伝えし、
“いつでもどこでも”気軽にできる「骨盤底筋体操」を
みんなで行いました。



ケアマネジャーや介護職の方など
14名の方が参加してくれました。



骨盤底筋の場所を確認

骨盤底筋体操中



フリートークでは「排尿のことを話せる場がなかなかない
ため、みんなの体験談が聞けてとても良かった」「骨
盤底筋をはじめて聞いた。これから鍛えていこうと思
う」と明るく楽しい話しでとても盛り上がりました。

骨盤底筋体操は生活しながらできる体操です。すでに漏
れている方は尿漏れ対策のために、まだ漏れていない方
は尿漏れ予防のために、ぜひ実践しましょう。

担当：皮膚・排泄ケア認定看護師 横山明子

テーマ：CVポート・内服抗がん剤

近年は、病院以外で抗がん剤を扱う機会が増えています。

できるだけ「今まで通り」「その人らしく」生活し、治療を受けることが大切ですが
自宅で抗がん剤を扱うことは、患者本人も支える家族や地域のサポーターの人にも、
きっと不安があると思います。

今回は様々な職種の方にも、実際にCVポートに触れてもらおうと思っています。
引っ張ってみたり、針にテンションをかけてみたり、いつもやらないことを実演します。
院内のみなさまも 良ければご参加下さい。

がん化学療法看護認定看護師 岡本知子



©菊川市

日頃より認定看護師の活動に、ご理解・ご協力ありがとうございます。

今後も、看護師皆様の身近で活動しながら、役立つ情報を発信していきたいと思っています。

認定看護師 一同

作成：皮膚・排泄ケア認定看護師 横山明子

CN ニュースレター

第 14 号

発行元: 菊川市立総合病院

看護部: 認定看護師会

発行日: 令和 4 年 10 月 26 日



©菊川市

認定看護師会では、当院の職員が地域の医療・介護に携わる皆様と共に学び、
支え合うことを目的とした活動に取り組んでいます。

10月11日に開催した「地域のみなさまと学ぶ会」の様子をお知らせします。

・内服抗がん剤 ・CV ポート穿刺体験

近年はあらゆる癌腫で内服抗がん剤の適応が増えています。内服といえども、点滴と同じく強い効果があり、正常細胞に作用すれば副作用となります。自宅でサポートする事の多い職種の方と知識を共有しました。

またCVポートについては、在宅で関わる方でも「聞いたことあるけど、見たことなかった」「実際に触るのは初めて」などの感想が聞かれました。インフューザーポンプは少しずつ充填を体験し、専用バックを肩にかけて、重さなど体験してくれた方もいました。



後半のフリートークは、病院と地域をつなぐ交流の場です。

在宅での「病院とは違う判断の難しさ」や「患者だけではなく家族への対応も複雑」など、
日頃の思いを語る場になりました。

担当：がん化学療法看護認定看護師 岡本知子

緩和ケア “むくみ”を和らげたい!

“むくみ”でつらい思いをしている患者さんは多いですね。
少しでも楽にしてあげたい!と思うけれど、「マッサージってしてもいいのかな?」
「どうやったらいいのかな?」と、躊躇している人も多いのではないのでしょうか。

“むくみ”を知って、気持ちいい~安心ケアにつなげましょう!

「何だか瞼が重たい・・・。」「朝起きたら、顔に枕の痕が・・・。」

必見!

私たちの日々の憂鬱も、リンパドレナージで
すっきり解消しちゃいます♪

村山陽子



©菊川市

日頃より認定看護師の活動に、ご理解・ご協力ありがとうございます。
今後も、看護師皆様の身近で活動しながら、役立つ情報を発信していきたいと思っています。

認定看護師 一同

作成：がん化学療法看護認定看護師 岡本知子

認定看護師会では、当院の職員が地域の医療・介護に携わる皆様と共に学び、
支え合うことを目的とした活動に取り組んでいます。

11月8日に開催した「地域のみなさまと学ぶ会」の様子をお知らせします。



© 菊川市

緩和ケア “むくみ”を和らげたい!



参加者の方々

ケアマネジャー：9名

介護士：4名

院外看護師：9名

院内：6名

「利用者の方の足がパンパンなんです。」「続けられる指導をしたいんです。」など、むくみを何とかしてあげたい!と
思っているケアスタッフのみなさんが、大勢集まってくださいました。みんな思いは同じ!

むくみの原因や対処方法・マッサージの禁忌・リンパについて学んだり、みんなで体を動かして汗を流しました。

とっておきのセルフケア方法では、自分のためのお顔のリンパマッサージを伝授。みなさん とても真剣でした!



キレイになりすぎて
困っちゃうかも...

みんなで学ぶ楽しさを、改めて実感することができました。

みなさん、本当にありがとうございました。

私が一番、楽しんでいただけたかもしれません (*^^*)

担当：緩和ケア認定看護師 村山陽子



『口腔ケアでオーラルフレイル予防』

オーラルフレイルとは「口腔機能の虚弱状態」を意味します。

高齢や疾患などが原因により食べる機能の衰えや、むせやすくなったりすることで誤嚥性肺炎を発症しやすくなります。口腔ケアの種類や効果を知ること
で、口腔内の衛生状態を保つだけでなく、口腔機能の維持・改善が期待で
きます。地域のみなさまと学ぶ会を通して、知識と技術の情報共有できたら
と思います。

担当：摂食・嚥下障害看護認定看護師 田邊敬博



© 菊川市

日頃より認定看護師の活動に、ご理解・ご協力ありがとうございます。

今後も、看護師皆様の身近で活動しながら、役立つ情報を発信していきたいと思っています。

認定看護師 一同

作成：緩和ケア認定看護師 村山陽子

認定看護師会では、当院の職員が地域の医療・介護に携わる皆様と共に学び、
支え合うことを目的とした活動に取り組んでいます。

12月13日に開催した「地域のみなさまと学ぶ会」の様子をお知らせします。



©菊川市

口腔ケアでオーラルフレイル予防



多職種でのグループワークの中で口腔ケアの大切さや、必要と分かっているけどなかなか実践できていないジレンマなど、皆様の意見交換ができました。

今回は講義中心の研修会になってしまったので、次回の研修の機会があれば、実技や体験できる研修会を計画していきたいと思います。



参加者の方々

ケアマネジャー：8名
介護士：2名
院外看護師：7名
院内：4名

初めての大型研修でしたが、皆様の協力のもと無事実施することができました。ありがとうございました。

担当：摂食・嚥下障害看護
認定看護師 田邊敬博

インスリン・内服薬・血糖値！こんな時？聞かれて困った！！

～問題共有して対策しよう～

糖尿病は、全身に影響のある病気です。治療には生活習慣の改善が必要です。さらにインスリン注射など、心身に負担の大きい治療が必要な患者さんの苦痛などを理解することは大事です。

日頃、糖尿病をもつ患者さんに対してシックディールールや降血糖薬の管理など困っていることを共有して、糖尿病をもつ患者さんや家族との関わり方や気を付けることなど、チーム医療の視点から一緒に考えて行きたいと思います。

今年度、最後の研修会になります。ご参加お待ちしております。

担当：糖尿病看護認定看護師 平川亜紀



©菊川市

日頃より認定看護師の活動に、ご理解・ご協力ありがとうございます。

今後も、看護師皆様の身近で活動しながら、役立つ情報を発信していきたいと思っています。

認定看護師 一同

作成：摂食・嚥下障害看護認定看護師 田邊敬博

CN ニュースレター

第 17 号

発行元: 菊川市立総合病院

看護部: 認定看護師会

発行日: 令和 5 年 2 月 7 日

認定看護師会では、当院の職員が地域の医療・介護に携わる皆様と共に学び、支え合うことを目的とした活動に取り組んでいます。

1 月 10 日に開催した「地域のみなさまと学ぶ会」の様子をお知らせします。



© 菊川市

インスリン・服薬・血糖値！こんな時？聞かれて困った！！

糖尿病は全身に影響を及ぼす病気です。治療内容や合併症の症状などさまざま、みなさまと一緒に知識を共有しました。

薬物治療（内服薬やインスリン注射など）をしている方が、血糖値が著しく低下した時の緊急対応として、救急治療薬の説明を行ないました。また、持続的に腕でグルコース値を測定する「フリースタイルリブレ測定器」の装着を見てもらい、参加者さんから「新しい情報が聞けた」、「実践して頂いて分かりやすかった」とのお声がありました。

これからも患者さんとご家族を支えるチームの一員として、地域のみなさまと連携していけるように頑張っていきますので、よろしくお願いします。

☆ご参加ありがとうございました☆



低血糖時救急治療薬の点鼻粉末剤「バクスミー」の使い方を実践しました。

「フリースタイルリブレ」腕に装着したセンサーにリーダーをかざすだけで、グルコース値が測れます。



センサー



リーダー

糖尿病看護認定看護師 平川亜紀



© 菊川市

日頃より、「地域のみなさまと学ぶ会」の活動にご支援くださりありがとうございます。今年度は新たに2分野が加わり、7講座を開講しました。院外・院内の多くの方にご参加いただき、実りある時間を共有することができました。

「地域のみなさまと学ぶ会」のべ参加人数

	院外	院内
2021 年度	60 名	7 名
2022 年度	130 名	12 名

地域包括ケアをみんなで支え合うにはお互いを知ることが初めの一歩と考え、毎回のフリートークの時間を大切にしています。今後もみなさまと大切な時間を共有できるよう、現在次年度の計画中です。ぜひ、多職種のみなさまのご参加、お待ちしております！

私たち認定看護師は、地域のみなさまへ情報提供・発信を行い、地域医療への貢献を目指しています。

日頃より認定看護師の活動に、ご理解・ご協力ありがとうございます。今後も、皆様の身近で活動しながら、役立つ情報を発信していきたいと思っています。認定看護師一同

作成：糖尿病看護認定看護師 平川亜紀